

2012年第4回北海道自主夜間中学交流会実行委員会

出席者：飯塚、泉、岡野、工藤（慶）、工藤（朱）、添田、森川

1. 北海道自主夜間中学フォーラム（9月29日）の反省

(1) 基調報告、生活体験発表、ワークショップ（花咲け出愛！私の夜間中学）の企画の流れについて

基調報告では、映画「こんばんは」に出てくる不登校生「しんちゃん」をとりあげた『自分を取りもどすための学校』のDVD放映とあわせ、夜間中学に来て、仲間の中で自分を取り戻していく様子が話され、とても良い内容であった。

四名の生活体験発表は、いずれもなぜ自分は夜間中学の学びを必要としたか、率直に話されており、聞いている者たちの心に響いたと思われる。

この続きで、ワークショップが行なわれ、限られた時間ではあったが、14ショップで「花」に託して「私の夜間中学」がまとめられていた。

みな、ワークショップの経験がなく、テーマを表現することに困難があるのでは、と心配されたが、どこのショップも時間内にまとめることができた。参加者一人一人が、自分たちの夜間中学で今問題となっていること、解決したいと思っていることがらを発言しており、発表資料にまとめられていた。

フォーラムの一連の流れが、ワークショップの作業、発表のま
とめに生かされていた。

この企画にワークショップを含めたことで、受講生・学習者な
どを主とした「私の夜間中学」を話し合うことができた。

道など行政からのアドバイスもあり、これまで3回続いた「体
験交流」とは違い、多くの参加者による「課題解決」につながる
交流・話し合いになった。

釧路市および請負広告代理店とも、このような行事に関われた
ことは、光栄だと話されていた。

(2) 会場、交通などの事前の準備について

会場の設営など、専門業者により事前の準備が整っており、ス
ムースな実行ができた。

交通については、当日、交通事故で道路閉鎖になり迂回したた
め、会場到着が幾分遅れたため、主催者にはハラハラさせてと思
われる。

札幌からの貸切りバスには、空席があり、フォーラム告知配布
チラシに一般市民に「バス利用可能」を刷り込んだ方が良かった
のでは、と思われる。

フォーラムを請け負った、広告代理店との打合せおよび各自主
夜間中学相互の連絡など、主なことがらでは問題ない準備となっ

た。

(3) 各自主夜間中学での取り組み

旭川遠友塾で生徒だけの参加となったが、生活体験発表のための事前準備など受講生・学習者とスタッフが連携しながら良くまとめられていた。

(4) 記録誌の発行について

予算は、一冊 500 円程度 300 部を見込んでいた。しかし、これまでの交流会の記録誌は、2,500 部印刷配布していた。

1,000 部程度の予算実行ができるよう、釧路市と検討をする。製本を PDF にしてもらい、その他必要な部数は各自主夜間中学で印刷できるようにすることも検討してもらう。

2. 2013 年度に向けて

今年度釧路市で開催できたことで、函館でも実施したいという意向がよせられているが、行政の支援なしに 4 自主夜間中学だけで開催するのは難しいだろう。

次年度は、「交流会」に戻した方が良いだろう。そして向陵中学校使った「公開授業」ができれば、他の自主夜間中学にも授業交流の上で良いのではないだろうか。

学校の夏休み、土曜日に教室をつかった「公開授業」を札幌遠友塾で検討してもらいたい、との意見がだされました。